

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、22～26℃台を示し、平年並み～やや低い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり9トンの水揚げで、前週の2.3倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり2kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり44kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年並み）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり71kgの水揚げで、前週の1.2倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり940kgの水揚げで、前週の3.3倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり16kgの水揚げで、前週の1.8倍（前年を下回った）。
- 定置網――五島有川地区では、マアジなどが1日1統当たり148kgの水揚げ。北松生月地区では、マサバなどが1日1統当たり5.1トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ブリなどが1日1統当たり491kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり262kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり283kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年並み）。北松小値賀地区では、イサキが1日1統当たり48kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。野母地区では、マアジが1日1統当たり13kgの水揚げ（前年を下回った）。
- 延縄――北松小値賀地区では、キダイなどが1日当たり51kgの水揚げで、前週の68%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（7/4日～7/9日の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は、全船が出漁（日付変更線付近及び北海道積丹沖へ出漁船有り）。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～佐渡～山形沖～青森沖にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 4日延4隻、総計125箱、1航海最高40箱、平均31.3箱、スルメイカ（25入）81箱、ケンサキイカ（3立～4立）44箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第31-20号 6県ケンサキイカ情報（6月号）・第31-21号 長崎県周辺海域の海面水温（7月号）」を長崎県庁ホームページに掲載しています。

長崎県庁ホームページ

「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>